

# レーゼクライス塾通信

(1999年 第5号) (12月21日発行)



寒くなりました。この数日来的「寒波」で、何人かが体調をくずしているようです。特に受験が控えている人たちは、『うがい』をちゃんとして、早めに手当てして、寝込まないようにしましょう。

(お互いに！)

新しいパターンで(ホームページの『塾長のつれづれなるままに』)に書き込んでいる記録から通信を作成するという通信を発行するようになって、もう3回目です。みんな、家庭の人には見せていますか?(ついでに、「成績集計」や「実力テスト集計」や、「講座成績集計」も。1年で1回は、直接、家庭へ郵送しようかなと考えています。「ちゃんと見せていますか?」と。)

(1999/12/19)

**【続「教える」とは】**一昨日・昨日と、中1と中2の実力テストを実施しました。今回は、例年、テスト範囲を終えていない「学校」があり(恐らく、「診断テスト」までも授業は終わらないと思いますが)、それを補う小テストを行っての実力テストでした。でも、当のその学校の多くの子供たちは、やはり出来が悪そうです。(その学校は、今日の四国新聞で大きく取り上げられた、「総合学習」だ「合科学習」だと「生きる力」を標榜する「文部省」の委託を受けて先駆的「研究」を行っている学校です。教科学習は、塾に任せて!)そして、当然、結果として大量の採点作業が残ります。そうした、作業のため、帰ってくれていた《ある大学生》(さて、誰かな?)からメールが来ました。『...自分が塾生のころ、これだけの労力がカリキュラムの裏に潜んでいたことをわかっていれば、一つ一つのテストにあと数時間は勉強して臨んだはず。』(無断引用!)随分、分か



るようになってくれました!でも、今の塾生でも、少しは、そういうことを思ってくれる子もいるんですよね。(でないとやってられません!)ですから、「習っていないでも」もちろん、頑張っている子もいるんですね。『頑張れよ』と言うためには、少なくとも言う側が(口に出して言わなくても)、それだけの頑張りを背景に持っていなければならないと私は思います。『勉強しなよ』と言うためには、自分が勉強することが前提なのです。大人の側が、「つかの間の楽しみ」やいわゆる「遊び」に現を抜かしながら、子どもに「勉強しろ」と言っても、それは、虚しい戯言にしか過ぎないでしょう。『後ろ姿を見て育つ』というのは、そういう意味では、限りなく真理に近いと思います。後ろ姿や、『裏(背景)』を見る力がないとしたら・・・それは、しかたがありません。恐らく、その後ろ姿が真実でない可能性の方が大きいのですから。

**【隣り合わせの「暴力」】**12月6日付の毎日新聞の「教育ワイド」欄に、香川の中学生の投書が掲載されていました。少し引用しましょう。《愛情と体罰は隣り合わせだと思  
う。ある先生は部活中に手を上げ  
たり、怒鳴ったりしていました。で  
も、その先生はこう言いました。「当  
たり前のことを何回言うてもできん  
かったら、手出したりするやろう。



お前から小さい時は悪いことして親に怒られたり  
したやろう。」本当に私たちを自分の子供のように愛  
してくれているのだと感じました。.....》ここに、簡単に「暴力」を容認してしまう「背景」があります。「何回言うてもできんかったら」・・・それは、また何回も言うだけです。(どういつもりでこれを掲載したのかは、その意図が計りかねますが)『多様な価値観』や『国際性』が強調される現代社会にあって、「何回言うても」きかないからと言って、「ミサイル」を打ち込んだり、暴力に訴えていれば、どういことになるか、15歳の少女に分らないのでしょうか?こうした少女が大人になるころの社会を想像すると、ぞっとするものがあります。そし

て、そうした人間の育成に「部活」が大きな役割を担っていることが見て取れます。恐ろしいのは、(恐らく)「教師」がそれとらずに、暴力を容認する勢力を育成しているのです。



**【なぜ「冬期講習」をしないのか】**と(最近では知られてきて、少なくなりましたが)聞かれることがあります。逆に「なぜ冬期講習をするのか?」と問題を定立してみれば、その理由が見えてきます。もしかしたら、「受験」前の数回で、「学力」がつくかも知れませんが、私にはそうは思われませんし、どうしても背景に「経済的要因」を見てしまいます。そうしたものは、かの『後ろ姿』とは無縁のものだと思うのです。もっとも、現に時間もありませんが。

(1999/12/12)

**【確かに師走】**「師」と呼ばれようとも思っていないのですが、この数日の時間の経過の速さには、驚きます。日々のテスト作成や成績集計や、テストのファイル化(CDRを利用して、各学校の定期試験等をCDに収録してしまおうというものです。)、実力テストの作成、例によって数学マニュアルの作成と、あっという間に1週間が過ぎてしまいました。「風邪気味かな」と思うと、すぐに薬を飲み、頭が痛い、またすぐに薬を飲み、歯が痛い、すぐに「今治水」!あ~あ。

**【相変わらずの「学校成績」至上主義の横行】**師走になると、相変わらず、「冬期講習」や「冬休みの復習」などと銘打って、いろいろな「チラシ」が新聞に折り込まれます。そうしたチラシに共通するのは、「~番」だとか、「~点上がった」とか「~名合格」とかいうものです。『原則的学習』をするのではなく、「過去問」演習を繰り返し、漢字で書かなくても なるからと、「ひらがな」練習を繰り返すなんて。今年の世相を現す文字として、昨日、「未」が発表されましたが、まさしく、塾や家庭教師の「業界」も末期的様相を呈しています!「学校」が早いか、「塾」が早いか、(何をって、もちろん、破滅するの が!) 時間との競争でしょうか?

**【小学校英語に断固反対】**破廉恥な「冬期講習」のチラシを出している某塾が幼児期からの「英語教育?」を始めるそうです。これは、もちろん、来年度からの移行措置及び、2002年度からの「新課程」を意識したものだと思います。(いわゆる「総合学習」の一環として、小学校で英語を学んでもよいこととなります。まあ、件のチラシは、そうしたことを利用した新たな「金儲け」の手段でしょう。) 今日、ここある人々の間で問題になっているのが、子供たちの国語力のなさです。そしてまた、**子供たちの将来の学力を(もしかしたら生き方も)その根底で規定しているものが国語力だと思います。**それは、多くの高校生や多くの卒塾生を送り出した結果としての一つの経験則的な結論であると断言できます。そのような時に、少しばかり「英語であいさつ」ができたり(それは、まだましなほうですが)、中学英語の先取り学習(どうせ、そういうことになりかねません!)をしたりすることに何の意味があるのか! 文部省が「生きる力」を本当に(というのは、「経済界」からの「独創的人間」創出への圧力でなく)望むのなら、『減らした授業時間』を例えば、読書や朗読や作文に使うべきです。某塾のチラシを皮肉を込めて書き直すと、『**本当の国際的な人間は、英語が少々しゃべれることでなく、ましてや英語で発想できることでなく、自らの存在を深く認識し、自国の在り方や自国の価値を客観的に判断できることが、その前提になるのです。**』何とか、読書教室(ないしは朗読教室)を開きたいと、真剣に考えています。

特に小学生対象に。(中学ではもう遅い!) もちろん、開くときには、「必要経費」だけしかいただきませんよ。



**【「坂出高校」クラスについて】**

様々な要因があるのですが、来年度からの坂出高校の1年の募集を停止しようと考えています。最も大きいのはスタッフ不足だということでしょうか。もちろん、来年度の2・3年生クラスは存在しますし、みんなが卒業してしまうまでは、クラスは存続させます。

(1999/12/5)

**【フェニックスをもっと生かさないと】**

右の写真は、坂出校と丸亀校を結ぶフェニックス(テレビ会議システム)で丸亀校の生徒が坂出校の



スタッフに質問をしているところです。何と言っても、スタッフ(講師)が不足しているため、このようなことももっと利用しなければならないかも知れません。いっそのこと、「東京」や「京都」とも結ぼうかなとも思っています。ただ、難点は、どうしても「衛星中継」のようになるんですね。つまり、応答が、若干ずれるんです。もっと安くもっと速い回線ができればいいんですが、なかなかですね。

(1999/12/3)

**【表紙の変更と過去ログ作成】**

縦割りの写真を失敗したので、『さざんか』の写真に表紙を変えました。やはり、年月ですね。植えたばかりの5号館のさざんかはまだ小さいですね。それに比べて、3号館のは、大きくなりました。また、この「つれづれなるままに」も、過去ログ3を作成しました。こんなに『書いてきた』のかと、ちょっと驚きです。少しずつでも、(たくさんの読者に支えられて?)継続すると、多くなるんですね!



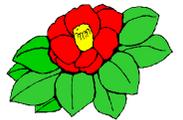
**【ファイルシステムほぼマスター】**ここ数日「更新」できなかったのは、スキャナを使った「ファイルシステム」をマスターしていたからです。塾では、例えば各学校のテストなどをほとんどすべてファイルしています。(生徒諸君には、原則として見せませんが!)ただ、それを「コピー」で行っているんで、大量の紙と場所を必要とします。以前から、ADF(自動原稿送り)装置のついたスキャナで、ファイルシステムを用意していたのですが、十分に活用できていませんでした。何とかしなければ(『必要は発明の母』かな)ということで、思い切ってMO(光ファイル)に保存する方法で、行うことにしました。

MOよりもっと容量の大きなものができればいいんですが。一応、1学年1年間のテストが1枚の光ディスクに納まる程度にはなります。

(1999/11/30)

**【今日は高校の縦割りでした】**今日は、5号館で高校生の縦割り学習(1~3年の学年を「縦」に割ったグループを作り、基本的に下の学年が上の学年に質問する時間)を行いました。その様子を「デジカメ」で撮影して、表紙の写真も変更する予定だったのですが、ちょっとしたハプニングで、撮影するのを忘れてしまいました!高3にとっては、「最後の」縦割りだったんですが、(勉強のし過ぎで?)体調をこわして欠席した者がいつになく多かったのは残念でした。(高1は欠席0名高2は1名。そう言えば、27日の中学の縦割りでは、中1~3で欠席者は1名だけでした。)

**【花壇の整備】**右の手のひらが「腫れて」います。授業準備のないこの機会に、遅くなってしまった「チューリップ」等の球根や、枯れた花を片づけて、新しくパンジーやデージーや葉ぼたん等を植えたからです。球根を植えるには、穴を掘らなければなりません。「手のひら」って使うんですよ。100個近くは掘りました!また、「ダブルディライト」と「ブルームーン」のバラの苗も植えたんですが、地面が硬くて大変でした。(いずれも丸亀校の4号館と5号館の花壇。)でも、来年の春が楽しみです。植物を育てるというのは、よく言われるように、確かに「子ども」を育てる作業に似ています。きちんと「土」も作らないといけないし、手入れもしないといけないし、「悪い虫」がつかないようにも注意しなければならぬし・・・でも、**きちんと手入れすれば、見事に花を咲かせてくれます!**そして、それを眺めるのがまた楽しいんですね。時には、「虫」に食われても、ちょっと「病氣」にかかっても、遅く『復活』してくれる子(じゃなかった、植物)もありますし。



**【素直に聞けること】**は難しいのだと、最近の「観

察」からよく（塾のスタッフの間で）話題になります。「写すだけ」の勉強は駄目だよ、とか、こうしたらいいよ、とかいろいろなことをアドバイスされても、頑固に「自己流」を曲げない子がいます。（アドバイスを受けるということは、その子の状態が客観的にどのようなものか、容易に想像できると思いますが）『理』に従うことができないんですね。もちろん、「こうしなさい」という形でのいわゆる「強制」ではありません。基本的には、『どうして、そういう風にするの？』という形で、子供たちの考えを聞き、その「非合理性」を指摘する訳ですから、かの「頑固さ」は、そうした論理の世界とは無縁のところにあるのでしょうか。「学力」を決定する大きな要因だと思います。逆に、『人の意見に素直に耳を傾けることのできる』子、『論理』に従うことのできる子は、・・・言うまでもありませんね！

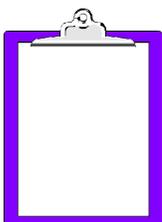


**【授業はないけれど】**今までできなかった各種の集計を行わなければなりません（高1・2の成績集計、高3のセンターテスト集計）。集計は結構楽しみにしているんですね（もちろん生徒が）。センターテストは実力テストですが、殆どのものは努力テストで、自分たちの2～3ヶ月間の努力の一つの結果としてのものですから（それに伴う、例えば「学校成績」の上昇や下降という副産物もあります！）。中1・2の『成績集計』も来週ですし、小6から中2までの総まとめの『実力テスト』ももうすぐです。ということは、そうしたテストも作らなければならないということです。更には、上記のような「農作業！」も加わりますし、新しく購入したCD-RWを使えるようにしなければ、ということも。さあ、頑張ってください！一つずつ！一つずつ！

少し紙面が余りました。ホームページ『掲示板』からの記事を引用しましょう。

**疲れました！** 投稿者：塾長 投稿日：12月19日(日)04時49分13秒

「数学マニュアル」作りが大変です。（いっそ手書きにしようかな、



と思いますが、「活字」にこだわると、時間がかかってしまうがありません。）どうして、こういう状況になっているのかを、ふと考えてみると、その根本原因が「ダッシュクラス」にあることに気づきます。更に言えば、「チームワーク」の「かけら」もない、高校授業にあります。何を思っか、生徒は大して能力差もないのに、「勝手に」どんどん先に進めてしまう「教師」にあります。（高 高校よりも速い進度で！）全員が「ダッシュ」ではありませんから、また、余りに進度が速いものですから、「問題集」を解くのが間に合いません！一人一人の進度を考えた時、「マニュアル」を作らざるを得ないのです！

### 寒くなりましたねえ

投稿者：2000年問題

投稿日：12月19日(日)10時15分44秒

もうやっているのかもしれませんが、これだけ塾のOG、OBがいるんですから、遠方の大学に通っているOG、OBでも、問題集を解いて解答を添付ファイルとかで送って、塾長はそれをチェックするだけにするとか、そういう形で協力とかできないのでしょうか。

塾長が掲示板に書く時刻を見ているとつくづくそう思うのですが。

**眠気ざましに音楽を！** 投稿者：塾長 投稿日：12月16日(木)01時12分33秒

お聴きなさい。（スピーカーなかったりして（笑）！）> K多君。

下のURLで、とっても心休まる曲が聞けます。（心安らかに仕事をやってもらわんと、とんでもない条文ができたりにて・・・）

ここで、今の時期にふさわしい音楽が聞けます。いいですよ！

<http://www.coara.or.jp/~nakaturu/index.htm>

う～ん、写真が・・・。ぜひインターネットを！

